

【考え・基礎的知識・技能】

地域の食文化の意義について理解している。また、調理の目的に合った調理操作ができる。

【つながり】

地域の食材を生かした日常食の調理を工夫することができる。

【応用・ひろがり】

地域の食材に目を向け、自分や家族、地域のために、地域の食材を生かした調理を考え提案することができる。

- ◇ 学年 第2学年
- ◇ 題材名 地域にある食の宝を生かす！
- ◇ 題材の目標 地域の食材を生かした調理を通して、地域の食文化に関心を持ち、地域の食材を用いることの意義を理解し、調理を工夫し、食材に合った調理をすることができる。
- ◇ 題材の計画（全10時間）

学習活動	時数	指導上の留意事項
<p>課題の設定（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ “道の駅”に関する数枚の写真を見て、なぜ“道の駅”が注目されているのかについて考えることを通して、自分の地域で採れる食材や伝統的な料理について知っていることを出し合ってみる。 ○ 地域で食文化の継承に携わっている方やALTの話聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方から郷土料理や行事食についての歴史、地域の食材を使った調理の工夫、生産者の思い等について話を聞いたり、住んでいる国が違うALTの故郷の食の話の話を聞いたりすることにより、地域の食材のよさに気付く。 ○ 地域の食材を生かした調理をすることを知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えた料理を食べる人を決める。 ・ 家庭分野で学習したことが、総合的な学習の時間の「地域の宝さがし！」の学習で、“道の駅”で販売される料理のメニューの基になることや“道の駅”に掲示する地域にある食の宝の良さをアピールするポスターづくりにもつながることを知らせる。 ○ 学習課題を設定する。 『地域で採れる食材にはどのようなものがあり、どのように調理して食べるとよいのだろう。』 	2	<p>★身近な話題を取り上げたり、実際に住む地域の方の知恵に学んだりすること等を通して、自分たちの地域の食についての課題意識をもたせる。</p> <p>○ 地域の方やALTの話の時に、食材や料理の実物や写真・映像等を準備してイメージさせながら聞かせる。</p> <p>○ 「地産地消」や「フードマイレージ」について触れることにより地域の食材を生かすことの良さについて深める。</p> <p>○ 課題解決に向けて加えたらよい視点について、気付いていない生徒に、考えを更に深めるための問いかけや、調べる方法等について支援する。</p>
<p>情報の収集（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域で採れる食材のことや食文化等について、各自でインターネットや資料を活用したり、家族や地域の方へインタビューしたりして調べる。 ○ 地域で採れる食材をおいしく食べるための調理方法について、グループで教科書や調理に関する資料等を活用して調べる。 	1 2	<p>★これまでの学習で学んだ調理方法と関連付けて考えさせたり、関連する資料等で調べさせる。</p>
<p>整理・分析（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集めた情報を基にグループで調理計画を立てる。 ○ 調理実習を行い、成果や課題を分析し、再度計画を練り直す。 	1 2	<p>○ 地域の食材を多く取り扱っている、“道の駅”に掲示するポスターづくりにつながることを伝え、家庭分野の学習の視点でまとめさせることにより、地域と触れ合い、地域の食材への関心をより深めることができるようにする。</p>
<p>まとめ・創造・表現（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べたことや調理について、新聞形式でまとめる。 ○ 作成した新聞を使って発表することにより、自分達の計画に取り入れると良い新たな視点やヒントを見付ける。 	2	
<p>新たな課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 他に地域で採れる食材はないか考え、自分や家族のための料理を考えてみる。また、総合的な学習の時間の「地域の宝さがし！」の学習で、“道の駅”と連携して実施する料理販売に広げつなげる。 		<p>★本題材で育まれた意欲を大切にしながら、内容Bの選択事項である「生活の課題と実践」や家庭学習につなげる。また、他教科等へと広げる。</p>